アプリ概要

グループディスカッション専用アプリ

1. システム化の目的

［目的］音声を時間伸縮する技術である話速変換は、聞き取りを支援する聴取補助技術の一つとして利用されており、話速変換システムに、音声の時間身長によって生じた遅延量を画面上に配置したメーターによって可視化した。この「残余発話聴取時間」を視覚で提示する手法が、会話のしやすさに寄与するデータがある。

音声会話で、相手の言葉（見えない情報）をテキスト化（可視化）することによって、①対話が弾むのではないか？②発言の割合を可視化する機能を付けるなどを目的として、グループディスカッション専用アプリを作成していく。

1. システムの概要

会話をテキスト化する際はpythonの音声認識機能を使う

* 音声の遅延量を画面上に配置したメーターによって可視化することで会話がしやすくなったデータがある。

↓

* 発言の割合も可視化することで意見を促したりする機能も増やす。

↓

* 可視化することで対話が弾むのではないか？

1. 優先順位

（１）研究を行うために、会話をテキスト化する機能を実装する。

（２）対話が弾んでいるかの研究。

（３）余裕があればレコーディング機能を作成する。

画面推移図

ダイアグラム

自動的に生成された説明

画面設計図

１　　　　　　２　　　　　　　３　　　　　　　４　　　　　　　５　　　　　６

1. 初心者部屋と慣れてきた人向けの部屋選んでもらい、選択した部屋でマッチング（どちらの部屋に入るかユーザに選択させる）
2. 役職を自動で決めてくれる機能（慣れてきた人向けの部屋の機能）
3. 音声会話をテキストとして可視化する機能（pythonの機能を使う）
4. 発言の割合を可視化する機能
5. レコーディング機能（期間に余裕があれば）
6. テーマに対してグループで回答してもらい、テーマごとの回答の閲覧機能